

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 1202016

政策目標	3 のびやか・雄武～教育・文化の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	13 生涯学習・生涯スポーツの推進	事業優先度	B	
単位施策	2 学習・スポーツ活動の推進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	スポーツ大会推進事業	見直し年度	平成24年度	
事業期間	平成20年度～平成24年度	担当課	12 教育委員会教育振興課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	参加団体・チーム及び人数	関係課	#N/A	
事業目標	普及促進9団体、雪合戦10チーム、自治会100人、キンボール15チーム	ハード/ソフト事業区分	2 ソフト事業	
住民参加 住民協働	1 各大会ごとに参加者を募り開催	関係例規・法令名		
		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成20年度 事業内容	平成21年度 事業内容	平成22年度 事業内容	平成23年度 事業内容	平成24年度 事業内容	
計 画 内 容	町民の健康・体づくりの奨励、スポーツを通じて世代間の親睦・交流を図る。 1. さわやかスポーツデー 2. 雪合戦 3. 自治会対抗スポーツ大会 4. オムリンピック 5. キンボール大会	スポーツ大会の開催 1. さわやかスポーツデー 2. 雪合戦 3. 自治会対抗スポーツ大会 4. オムリンピック 5. キンボール大会	スポーツ大会の開催 1. スマイルスポーツフェスティバル 2. 雪合戦 3. 自治会対抗スポーツ大会 4. オムリンピック 5. キンボール大会	スポーツ大会の開催 1. さわやかスポーツ大会 2. 雪合戦 3. 自治会対抗スポーツ大会 4. オムリンピック 5. キンボール大会	スポーツ大会の開催 1. 普及促進スポーツ大会 2. 雪合戦 3. 自治会対抗スポーツ大会 4. オムリンピック 5. キンボール大会	スポーツ大会の開催 1. 普及促進スポーツ大会 2. 雪合戦 3. 自治会対抗スポーツ大会 4. オムリンピック 5. キンボール大会	
計 画 事 業 費	事業費(千円)	2,050	410	410	410	410	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	2,050	410	410	410	410		
実 績 事 業 費	事業費(千円)	1,775	363	365	351	341	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	52	16	11	9	8		
一般財源	1,723	347	354	342	333		
関 連 事 項	(特定財源の詳細等) 社会体育事業参加料	【評価・実績】	(実施内容等) 1. スマイルスポーツフェスティバル 2. 雪合戦 3. 自治会対抗スポーツ大会 4. オムリンピック 5. キンボール大会 ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 1. スマイルスポーツフェスティバル 2. 雪合戦 3. 自治会対抗スポーツ大会 4. オムリンピック 5. キンボール大会 ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 1. さわやかスポーツ大会 2. 雪合戦 3. 自治会対抗スポーツ大会 4. オムリンピック 5. キンボール大会 ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 1. さわやかスポーツ大会 2. 雪合戦 3. 自治会対抗スポーツ大会 4. オムリンピック 5. キンボール大会 ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	
	第4期総合計画関連 (継続有り)	年度目標値	団体・チーム34、自治会100人	団体・チーム34、自治会100人	団体・チーム34、自治会100人	団体・チーム34、自治会100人	団体・チーム34、自治会100人
		年度達成率	89%	89%	86%	87%	83%
		全体達成率	18%	36%	53%	70%	87%
		事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆

事業名	スポーツ大会推進事業	評価者 管理職 職氏名	教育振興課長	横田 和幸
		評価者 作成者 職氏名	生涯教育係主査	櫻井 輝久

平成24年度実施
平成25年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	参加者数								
【抱える課題やニーズは】	大会の参加者が年々減少しており、参加促進が課題である。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	大会参加をきっかけとした、各団体・グループでの自主開催。	① 大会参加者	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成24年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>600人</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>353人</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>58.8%</td></tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	600人	実績値	353人	達成度	58.8%
目標年度	平成24年度										
目標値	600人										
実績値	353人										
達成度	58.8%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	仲間づくりや各世代間の交流を深めるとともに、自ら計画・実践を行うことによる、スポーツ活動の推進。	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td></td></tr> <tr><td>実績値</td><td></td></tr> <tr><td>達成度</td><td>#DIV/0!%</td></tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	各種スポーツ大会の開催	町広報、新聞チラシ等による周知により参加を促し、種目により参加負担金を徴収して開催。(オムリンピック・自治会対抗パークゴルフ大会・キンボール大会・さわやかスポーツ大会)									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	少子・高齢化が進む中、本町においてもスポーツ人口は減少しており、スポーツを全く行わない町民の解消のため、本事業は必要である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効	設定した目標値の達成状況	軽スポーツ大会を開催したことにより、幅広い年齢層の参加者が得られたが、悪天候による雪合戦の中止等により、目標値を下回る結果となった。
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	予算の執行については必要最小限で行っており、また参加費の徴収による開催など、効率的な事業運営を行っている。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

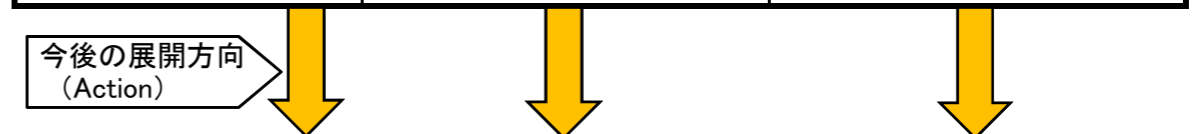
公平	判断の理由	対象は一般町民であり、広く町民に呼びかけ参加促進を図っていることから、公平性は保たれている。
公平/概ね公平/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
町民の期待度が高いプログラム設定を行い、参加者確保に努めている。		



継続/現状維持		
スポーツは健全な精神と身体を養成し、心豊かな生活を送る上で必要不可欠なものであり、今後も継続的なスポーツ機会の提供は必要である。		

※展開方向の区分
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 終了 休止 廃止